

アキカラマツ

【 *Thalictrum minus* var. *hypoleucum* 】

科名 キンポウゲ科

属名 カラマツソウ属

薬効・用途

全草（高遠草 タカトウグサ）を健胃薬として下痢や腹痛に用いられる。有毒成分を含むので使用には注意が必要である。



・花期：7～9月

備考

多年草。北海道、本州、四国、九州、朝鮮、中国に分布する。長いおしべが多数集まった姿が木の唐松の葉を思わせる花を咲かせるカラマツソウに良く似た花で、それよりは秋が深まってから咲くことから名付けられた。雄花と両性花。